
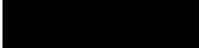



放射線科画像診断報告書

(診療情報提供書)

患者ID		検査	CT	4階
NAME		依頼医	院内 耳鼻咽喉科  先生	
年齢	66Y	放射線科		
性別	M	備考	住所・電話番号・診断名	
検査日	2010年02月01日		紹介目的・既往歴・家族歴	

<臨床情報>

下咽頭癌右梨状窩massにて精査中
局所、頸部、肺野について検討の御依頼

<画像所見>

頸部胸部CT

前回検査2009年12月17日 / 2010年1月8日と比較しています。
右梨状窩に腫瘍の形成が認められ不均一な造影効果を示しています。2009年12月17日に比べて左側方向に腫瘍の増大傾向が認められ原発病変の増悪の所見と考えます。接する甲状軟骨は一部菲薄化して認められています。
右上頸部に直径9mm大の低濃度領域が認められ前回検査では5mm大に認められています。リンパ節転移病変の増悪の所見と考えます。
食道癌術後です。

肺気腫の所見が認められています。左右上葉に微細な粒状や多発して認められ結核後などを鑑別に考えます。所見は2009年12月17日と同等です。
右中葉末梢に石灰化濃度を呈する結節性陰影が認められますが肉芽腫の所見と考えます。左右肺野に転移を疑わせる結節性陰影の所見は明らかではありません。
縦隔 / 右肺門部にリンパ節に腫大が認められますがサイズを前回検査と同等で内部に一部石灰化疑わせる高濃度領域が認められています。結核後に伴う所見と考えますが経時的変化フォローアップとして下さい。

肝臓に多発低濃度領域が認められますが所見は前回検査2009年12月17日と同等で嚢胞を疑います。

<Impression>

右梨状窩に下咽頭癌を疑わせる腫瘍の形成が認められ2009年12月17日に比べて増大傾向を伴っています。下咽頭癌の増悪の所見と考えます。
右上頸部に直径9mm大のリンパ節が認められ2009年12月17日に比べて増大しています。リンパ節転移病変の増悪の所見と考えます。
肺気腫 / 結核後を疑わせる所見が認められています。
明瞭な肺転移を疑わせる所見は明らかではありません。

別紙の参照画像をご覧下さい。

患者ID



検査日 2010年02月01日

4階

患者名

依頼医 院内耳鼻咽喉科 [Redacted] 先生

NAME

備考

年齢 66Y

性別 M

検査 CT

参照画像

